

平成 16 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	<b>提案機関名</b>	自然環境保全センター 県有林部
99		
※記入不要		
<b>要望問題</b>		
森林整備事業における植生保護柵の設置効果に関する研究調査		
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
<p>県有林では、森林に被害を与える野生鳥獣の生息地域において、森林の機能保全と野生鳥獣の共存を目指した森林整備の一環として、植生保護柵の設置を実施している。</p> <p>これまで、自然植生の回復を目的とした植生保護柵においては、設置効果や植生調査が行われているが、森林機能保全と野生鳥獣の採食影響の関係や森林管理を目的とした保護柵の設置効果については明らかにされていない。</p> <p>そこで、本事業で設置した植生保護柵内外において、柵設置の効果検証とスズタケ等植生回復特性についての調査研究を要望する。</p> <p>要望内容の詳細については、別紙のとおり。</p>		
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
<b>研究対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他	
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業総合研究所（ ②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場 ） <input checked="" type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター	
※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。		
<b>回答機関名</b>	自然環境保全センター	
部 署	研究部	
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可	
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 三ホンジカの採食影響下における植生回復に関する研究	
<b>対応の内容等</b>	<p>〔097〕とあわせて事業の効果検証のための新規課題を設定します。</p> <p>その理由①現在は標記課題で対応しているところですが平成15年度で終了します。 ②事業効果の検証には継続的な調査を必要とします。 ③自然公園課と県有林では場所・事業効果の目標は異なっても、調査内容を統一できます。</p>	
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
<b>備考</b>		